

## 研究協力のおお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 整形外科学教室

### 記

研究の名称	膝周囲骨切り術における下肢アライメント、骨癒合、関節軟骨の術後経過についての検討
対象	2016 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までの期間に膝周囲骨切り術を施行された患者さんの単純 X 線、単純 CT、関節鏡写真を研究に利用いたします。本学では 200 例を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ~ 2025 年 3 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：内反型変形性膝関節症に対して関節温存手術として高位脛骨骨切り術（以下 OWHTO）は一般的な術式です。しかし OWHTO は膝蓋大腿関節への影響が多数報告されており、同関節への影響が少ない高位脛骨粗面下骨切り術（以下 OWDTO）が近年注目されています。</p> <p>OWDTO における骨癒合や軟骨損傷の経過についての報告は少なく OWHTO の術後経過の違いや、その影響因子について下肢アライメントを含めて検討します。両術式における骨癒合の差および軟骨損傷の経過とその影響因子を比較検討することで、今後の術式選択や手術方法の改良などの一助になると考えます。</p> <p>利用方法：患者さんの情報を、当院の診療記録から収集し、抽出した情報を基に統計解析を行います。抽出する診療情報は、診療情報と同様に厳重に</p>



担当者 大槻 周平 内線 6673

連絡先 072-683-1221 (代)

# 研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿  
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学  
担当者 大槻 周平 殿

課題名	膝周囲骨切り術における下肢アライメント、骨癒合、関節軟骨の術後経過 についての検討
-----	--

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否いたします。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）